

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-92839

(43) 公開日 平成4年(1992)8月12日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 B 7/08	A	9199-5K		
H 0 4 N 5/44	Z	7037-5C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

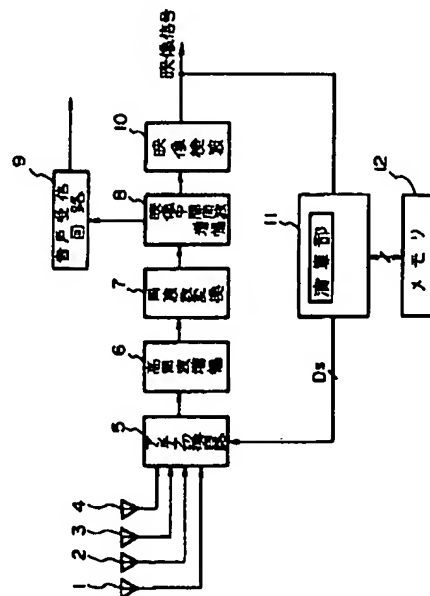
(21) 出願番号	実願平2-401754	(71) 出願人	000101732 アルパイン株式会社 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
(22) 出願日	平成2年(1990)12月25日	(72) 考案者	泉 重夫 東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア ルパイン株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 志賀 正武 (外2名)

(54) 【考案の名称】 車載テレビ受信機用ダイバーシティ装置

(57) 【要約】

【目的】 複数のアンテナの各々を所定長の垂直同期期間内に複数回切替える車載テレビ受信機用ダイバーシティ装置におけるアンテナ切換ノイズ(ダイバーシティノイズ)を低減させる。

【構成】 現時点より以前の所定長の垂直同期期間内における各アンテナの使用頻度に基づいて現時点より先の所定長の垂直同期期間内における前記各アンテナの切換割合を決定する決定手段と、この決定手段の結果に基づいて各アンテナの切替を行なう切替手段とを具備する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 複数のアンテナの各々を所定長の垂直同期期間内に複数回切替える車載テレビ受信機用ダイバーシティ装置において、現時点より以前の所定長の垂直同期期間内における前記各アンテナの使用頻度に基づいて現時点より先の所定長の垂直同期期間内における前記各アンテナの切換割合を決定する決定手段と、この決定手段の結果に基づいて前記各アンテナの切換えを行なう切換手段とを具備することを特徴とする車載テレビ受信機用ダイバーシティ装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案の一実施例による車載テレビ受信機用ダイバーシティ装置を適用した車載テレビ受信機の概略

2

構成を示すブロック図である。

【図2】 図1の動作の一例を説明するための波形図である。

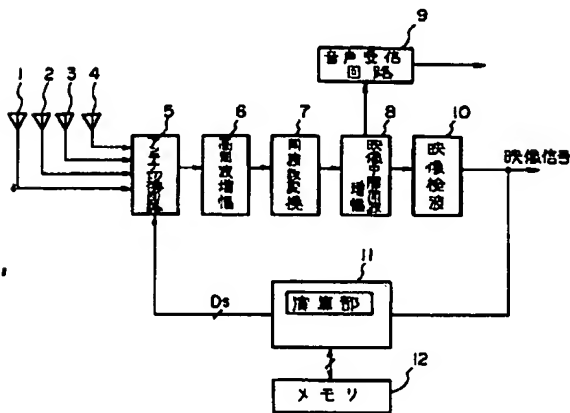
【図3】 図1の動作の他の例を説明するための波形図である。

【図4】 従来の車載テレビ受信機用ダイバーシティ装置を説明するための波形図である。

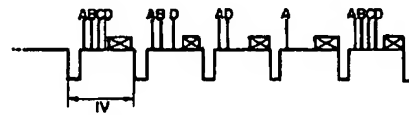
【符号の説明】

- | | |
|-----|--------|
| 1~4 | アンテナ |
| 5 | 切換回路 |
| 10 | 映像検波回路 |
| 11 | コントローラ |
| 12 | メモリ |

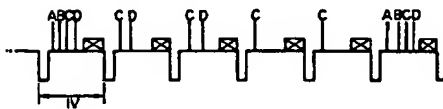
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

